

# 2025-26 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530

よいことのために  
手を取りあおう

第  
2530  
地区

## 福島西ロータリークラブ会報

会長 宮崎 秀剛  
幹事 佐藤 卓立  
奉仕プロジェクト  
委員会委員長 大平 謹一郎  
会報写真担当 朝倉 久仁男

令和 8 年 3 月 23 日(月) 第 24 回 通算第 1757 回例会

・ 例会日/月曜日 12:30 ・ 例会場/エフズサンパレス ☎ (024) 523-3899

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第 24 回例会 点鐘 12:30

◇開会点鐘 宮崎 秀剛 会長

◇ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ソングリーダー

西形 健吉 会員



◇四つのテスト唱和

高橋 智弘 会員



◇お客様 並びに ビジター紹介

Wedding produce\*Chayuka\*代表

齋藤 智賀子 様



◇退会あいさつ

東邦銀行西福島支店 支店長 高根 典子 会員

※急遽ご欠席の為、メッセージを幹事代読

◇会長あいさつ

宮崎 秀剛 会長



皆さま、こんにちは。

年度末の3月となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

この時期は、旅立ちと別れ、そして新しい出会いが交差する季節です。

先日開催されました送別夜間例会にて、米山記念奨学生であるイエブ・シャオティンさんが我がクラブを卒業されました。今週は大学の卒業式とのことです。

また、東邦銀行西福島支店 支店長であります高根典子会員が、転勤に伴い3月末をもって退会されることとなりました。本日はご出席が叶わないため、メッセージをお預かりしております。後ほど幹事よりご紹介いたします。

先日は、福島南ロータリークラブの創立 55 周年式典に参加してまいりました。

今週は福島ロータリークラブの創立 75 周年、来週は福島 21 ロータリークラブの創立 25 周年式典に、佐藤幹事とともに参加いたします。

また、国際ソロプチミスト福島の創立 50 周年式典にも、来賓として出席してまいりました。

周年や式典は、節目を振り返り、未来へ想いをつなぐ大切な機会です。各団体の歴史と歩みに触れ、改めて地域の力を感じる時間となりました。

それぞれの歩みに、心に残る大切な思い出が刻まれていく——これこそが、“想い”を共有するということなのだと感じております。

さて、本日はゲストとして、Wedding produce Chayuka 代表の齋藤智賀子様をお迎えしております。

齋藤様は、専属会場を持たないフリーランスウェディングプランナーとして、福島県内および隣県を中心に活動されています。

文化財・古民家・温泉旅館、カフェ・ペンション・キャンプサイトなど、多様な場所で「生まれた街を愛するウェディング」というコンセプトのもと、ふるさとの「もの・人・食」にこだわり、まさに“想い”に寄り添いながら、準備から当日までトータルでプロデュースされています。

皆さまは「ブランディング」という言葉をご存じでしょうか。

ブランディングとは、自社独自のブランドを構築し、「信頼」や「共感」を通じて価値を高め、他社との差別化を図るマーケティング戦略の一つです。

ブランドが“他と区別できるもの”だとすれば、ブランディングとは、そのブランドを創り出し、世の中に浸透させていく一連の活動を指します。

最初はぼんやりしていた“想い”も、積み重ねることで少しずつ輪郭がはっきりしていきます。まさに齋藤様のお仕事は、そのプロセスを形にしていくものだと感じております。

先日、講師と打ち合わせをさせていただきましたが、非常に素晴らしい内容でした。まだイメージが湧きにくい部分もあるかもしれませんが、きっと心に残る講話になることと思います。

来月からは次年度の会議もスタートいたします。私の会長年度も残すところあと3カ月となりましたが、次年度へ良い形でバトンをつなげるよう、これからも一つひとつ丁寧に取り組んでまいりたいと思います。それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

◇食事

◇幹事報告 佐藤 卓立 幹事

○お知らせ（例会変更等その他）

- 26日(木)福島 RC 創立 75 周年記念式典祝賀会が開催されます。当クラブより宮崎会長、佐藤幹事が出席いたします。
- 28・29日(土日)八幡屋にて会長エレクトレーニングセミナー(PELS)が開催されます。当クラブより寺島会長エレクトが出席いたします。
- 次週 30日(月)の例会は理事会承認休会③となっておりますのでご注意ください。
- また 4月初めの例会は、6日(月)→8日(水)二本松ロータリークラブ合同観桜夜間例会に変更となっております。開会点鐘 18:30 となっておりますので、各自間に合うよう「アーバンホテル二本松」までお越しくださいますようお願いいたします。

- 3月ロータリーレートは 1ドル 156円 となりますので、お知らせいたします。

委員会報告

プログラム・出席・スマイリングボックス

小委員会報告 久米 允彦 委員長



○宮崎秀剛会長

齋藤智賀子様、ようこそ福島西 RC へお越し下さいました。心より歓迎いたします。ゲストスピーチ楽しみにしております。

○佐藤卓立幹事

ゲストスピーチ齋藤智賀子様、楽しみにしております。

○西形健吉会員

10年程前までクリスマス家族夜間例会で皆様に可愛がっていただいた孫娘が4月から福島高校に通学することになりました。その分こちらは随分年をとりました。

佐藤宗弘会員／高橋智弘会員／野尻榮一会員  
大平謹一郎会員／高梨哲男会員／行形裕司会員  
佐久間政文会員／佐藤慶行会員／朝倉久仁男会員  
久米允彦会員

◇本日のプログラム

ゲストスピーチ

Wedding produce\*Chayuka\*代表

齋藤 智賀子 様





はじめまして。齋藤智賀子(さいとう ちかこ)と申します。

「Wedding produce Chayuka」という屋号で、フリーランスのウェディングプランナーとして活動しております。

皆さまは、ウェディングプランナーという職業をご存じでしょうか。

一般的には結婚式場やホテルに勤務し、新郎新婦様のサポートをする仕事です。

私はその中でも、特定の会場に所属しない“フリーランス”という立場で活動しています。

結婚式場で6年、レストランで6年、計12年間ウェディングプランナーとして勤務し、多くの結婚式のお手伝いをしてまいりました。

結婚式場では1日に複数組の結婚式が行われるため、時間通りに進行することが最優先となり、イレギュラーなご希望にお応えすることが難しい場面もあります。

「1日1組のレストランウェディングなら、もっとお客様の想いに寄り添えるのではないかな」と考え、結婚式場を退職し、レストランのウェディングプランナーへ転身しました。

しかし6年後、さらに自由度の高い結婚式を求め、「美味しいご飯があれば、どこでも結婚式はできる」という信念のもと、独立を決意しました。

独立準備のため、東京で活躍するフリーランスプランナーの現場に何度も同行し、学びを深めながら土台づくりを進めました。

■突然ですが、既婚者の皆さまへ質問です  
**結婚式はされましたか？**

近年、結婚式を挙げないカップルは全体の半数近くにとのぼると言われています。

では、結婚式をしなかった理由として、どのような声が多いのでしょうか。

よく耳にする理由

1. 費用の負担が大きい
2. 準備が大変でストレスになる
3. 親戚づきあいや人間関係の負担がいや
4. 注目されるのが苦手
5. 形式的な儀式に意味を感じない
6. 家族の事情
7. フォトウェディングなど、別の形で満足している

私は、こうした理由の背景には、**結婚式をした方のネガティブな感想が、これから結婚式をする方の耳に入ってしまうこともあるのではないかと**感じています。

「結婚式はしなくてもいい」「結婚式をしてもしなくても夫婦は夫婦」

もちろん、その通りです。

だからこそ、私たちが大切にしているのは

**『結婚式をしてよかった』という声を増やすこと。**

■私が大切にしていること

ふたりの話を丁寧に聴くこと

キーワードやキーパーソンを見つけること

そこから、ようやく会場探しが始まります。

お問い合わせの傾向ですが、SNSやホームページからのご相談が多く、「大きな式場は気恥ずかしい」「結婚式はしなくてもいいと思っていたけれど、両親に勧められて…」といった、結婚式に積極的ではないお客様が多いと感じています。

実際に結婚式を行う場所ですが、福島に数多くある温泉旅館、福島の豊かな自然を活かした場所、思い出のレストラン、自分たちらしさを詰め込めるフリースペース、などがあります。

■大切にしているコンセプト

～ #生まれた街を愛するウェディング ～

お互いの生まれた街を想い、お互いの家族を想い、大切な人たちを想うとき、**結婚式そのものの空気がまったく変わる。**

そのことに気づき、このコンセプトを大切に活動しています。

2010年に独立しましたが、翌2011年に震災が起こり、世の中は結婚式どころではなくなりました。しかし2013年頃から、ふるさと“福島”を想う新郎新婦様との出会いが増えていきました。

その中で、ある気づきが生まれます。

## ■お客様の声

「最初は結婚式をしたくないと思っていました。でも終わってみたら、結婚式ってこんなに楽しいんだ！という気持ちに変わりました。お金はかからないとは言いませんが、自分たちらしい、良いお金の使い方をしたと思っています。」

この言葉を裏切らないように、これからも一組一組に丁寧に向き合っていきたいと思っています。

## ■理念として大切にしていること

結婚する・しない、結婚式を挙げる・挙げない。どれも自由に選べる時代です。

その中で「結婚式をする」と決めたおふたりには、**結婚式でしか味わえない“人とのつながり”や“ふたりの絆”を感じてほしい。**夫婦は血のつながりのない“他人同士”。だからこそ、結婚式の準備を通して、育った環境や価値観の違いに気づき、互いに寄り添い、思いやる気持ちを育ててほしい。

**結婚式で得た体験が、これからの人生を豊かにしてくれる。**私はそう信じてサポートしています。

## ■最後に

若者が減り、結婚式をする人も減り、市内の式場や衣裳店の廃業が続いています。両家が揃って記念写真を撮るだけでも、地元の神社でお式をするだけでもいい。

「結婚式をしてほしい」そんな思いが年々強くなっています。

2024年、廃業される衣裳店様から少しばかり着物を買っていただいていたことをきっかけに、森合から稲荷神社近くへ引っ越しました。

その衣裳店様がなくなると、郡山や仙台の衣裳店をご案内せざるを得ず、「準備が面倒」と感じて結婚式を諦める方が増えてしまうと考えるためです。

社長様にお願ひし、少量ではありますが着物を購入。保管場所の問題から物件探しを始め、さまざまな方のご支援をいただき、福島市の空き店舗活用補助金事業に申請し、県庁通りのノノトリビルへ移転しました。今年で2回目の春を迎えます。

県庁通り商店街は活気があり、休日には多くの若者が集います。護国神社や稲荷神社も近く、神前式をされるお客様は引っ越し前の2倍に増えました。これから若者はさらに減っていくかもしれません。

それでも、「**結婚式をしてよかった**」

そう思っただけの未来をつくるために、微力ながら力を尽くしてまいります。

本日は、このような機会をいただき、誠にありがとうございました。

## ◇会報カメラ担当

公共イメージ委員会

朝倉 久二男 委員長